

第4学年 総合的な学習指導案

長浜市立永原小学校 教諭 親谷 有香子

1. 単元名 秋の全校山門学習「水質と生き物 春とのちがい」

2. 単元の目標

- ・永原を中心とした児童の興味・関心等に基づく学習を通じて、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、問題を解決する力などの「生きる力」を育てる。 (知識・技能)
- ・情報の集め方、調べ方、まとめ方、発表の仕方などの学び方やものの考え方を身に付け、問題解決に向けて主体的・創造的な態度を育てる。 (思考力・判断力・表現力)
- ・自分の考えや意見をもって、自分の生き方について考えることができるようにする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元は、毎年全学年で実施している「全校山門学習」の秋の単元である。山門水源の森に見学に行き、自然学習を行うもので、ねらいは各学年によってちがう。第4学年でのねらいは、山門水源の森を見学しに行き、自然に触れることで、春とのちがいを感じ取ることと、大切な永原の環境を守ろうという気持ちをもつことである。

社会科「命とくらしをささえる水」の学習では、川の水が浄水場で飲み水に作りかえられ、私たちがもとまで送られてくることを学んだ。本単元では、その川の水の、さらにもとをたどり、水のいちばんのもとになっている山門水源を見に行ってみようという導入から学習を進めていく。いちばんのもとになる場所であるからこそ、きれいな水が守られるよう、水源の森を大切にしなければならないという意識が持たせられるような学習にしていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、「全校山門学習」の見学を毎回とても楽しみにしている。昨年度の見学で見つけてきたものや、聞いてきたことも、嬉しそうに話す姿が見られ、意欲的な様子である。また、さまざまなことに対して「知っていきたい」「おもしろそう」と興味・関心を持てる子が多く、初めて学ぶことに対しても抵抗感なく取り組める児童が多い。児童から出てくる発言・つぶやきを大切にしながら、興味をさらに広げて学習を進めていけるよう工夫をしたい。

(3) 指導観

第3学年までの学習では、いろいろな植物、生き物を見つける体験が主な学習であった。しかし、第4学年では、社会科での学習などから視野を広げて、学んだことを生かし、深めるような学習を仕組んでいきたい。

児童のほとんどは、「山門水源の森はいいところだ」「自然は大切だ。」と感じているが、どうしていいところなのかを考えたことのある児童は少ないように感じる。自然が大切な理由も、深くは考えたことがないだろう。本単元では、山門水源の森が、わたしたちの生活とどのようにつながっているのかを知り、大切さについて詳しく学んでいきたいと考える。そのため、1つ1つの発問を工夫し、子供たちの思考を深めさせるような授業づくりをしていきたい。

また、山門水源の森を守っている人にも注目をさせたい。山門水源の森が今でもずっときれいなまま、守られているのは、それを支え、努力し続けている方がいるからである。本単元では、人にも焦点をあて、山門を守り続ける必要性、それを引き継いでいくという責任についても、考えさせるような時間を設定したい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・山門の水が、琵琶湖へ流れ、そこから私たちのもとへ届いてくる。山門の水は、わたしたちの生活と強く結びついているということ。

責任性・・・水源というのは、水の1番のもとである。水源をきれいに守っていかねば、きれいな水は届かなくなってしまう。また、自分たちの水の使い方についても、「使いすぎない」「汚れたものを流さない」などと、責任をもたなければいけないということ。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

進んで参加する態度

地域のために自分にできることはないかと考え、意欲的にかかわりをもとうとしたり、考えをつくろうとしたりして、地域社会に貢献しようとする。

多面的・総合的に考える力（システムズ・シンキング）

水源を守ることと、自分たちが使う水をきれいに守ることの両面を考えることができる。

・本学習で変容を促すESDの価値観

自然環境、生態系の保全を重視する

・達成が期待されるSDGs

- 6 すべての人々の水と衛生の利用可能性を
- 15 持続可能な森林の経営を

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
様々な調査をして、山門の水質や生き物についてわかったことを書いている。	山門の水を守るために、自分たちができていることを考えている。	自分にできることを考えて、仲間と協力しながら調査・行動を進めている。

5. 単元の指導計画（全5時間）

学習活動	○学習への支援	○評価
<p>1. これまでの社会科での学習をもとに、総合的な学習の時間での見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場で、水がつくられていた。 ・わたしたちは、水をすごくたくさん使っている。 ・安全に水を使えるように管理してくれている人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○浄水場見学に行った時の写真を提示することで、学習したことを思い出せるようにする。 ○児童の発言を自由に出させる。 	<p>学習に対する見通しをもてる。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
<p>2. 水の一番のもとになっている場所を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の源だから、水源だ。 ・山門水源の森が、1番の水のもとなんだ。 <p>学習課題をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○山門の水質環境について興味を持たせる。 	<p>山門水源に興味をもち、意欲的に調べようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 山門水源の森は、わたしたちの生活と、どのようにつながっているのだろう。 </div>		
<p>3. 山門水源の森へ見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山門の水はとてもきれい。 ・きれいな水だから、そこにしかない生き物や植物がいるのかな。 ・水の源だから、きれいに守っていないと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○山門水源の森を理解させるために、ガイドの方と一緒に観察をさせる。 ○山門水源の役割について、話してもらう。 	<p>山門水源に興味をもち、意欲的に調べたり、質問したりしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>様々な調査をして、山門の水質や生き物について理解している。(知識・技能)</p>

<p>4. どのようにして、山門は守られているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林を守っている人がいる。 ・自然を守るためには、手入れをしなければならない。 ・これから、どのようにして守っていけばいいのかな。 <p>新しい学習課題をつくる。</p>	<p>○ガイドの方の話を思い出させる。</p> <p>○ガイドブックを確認させる。</p>	<p>山門水源が様々な人の手によって守られていることを理解している。(知識・技能)</p>
<p>山門の水を守っていくために、私たちにできることを考えよう。</p>		
<p>5. 山門の水を守っていく行動を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの力で、山門を守っていききたいな。 <p>自分たちの行動をまとめて地域の方に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これで、よりたくさんの方が山門水源の大切さを知ってくれるといいな。 ・自分たちも、水を大切に使わないといけないな。 	<p>○山門水源と、私たちの生活との関わりをもとに、自分たちの生活を見直し行動指針をつくらせる。</p> <p>○自分たちの水の使い方についても、ふり返れるようにする。</p>	<p>山門水源を守っていくために、多くの人に発信していきたいと考え、取り組んでいる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>山門水源を守るためにできることを、多くの人に伝えるために、文章を考え、表現している。(思考力・判断力・表現力)</p>